

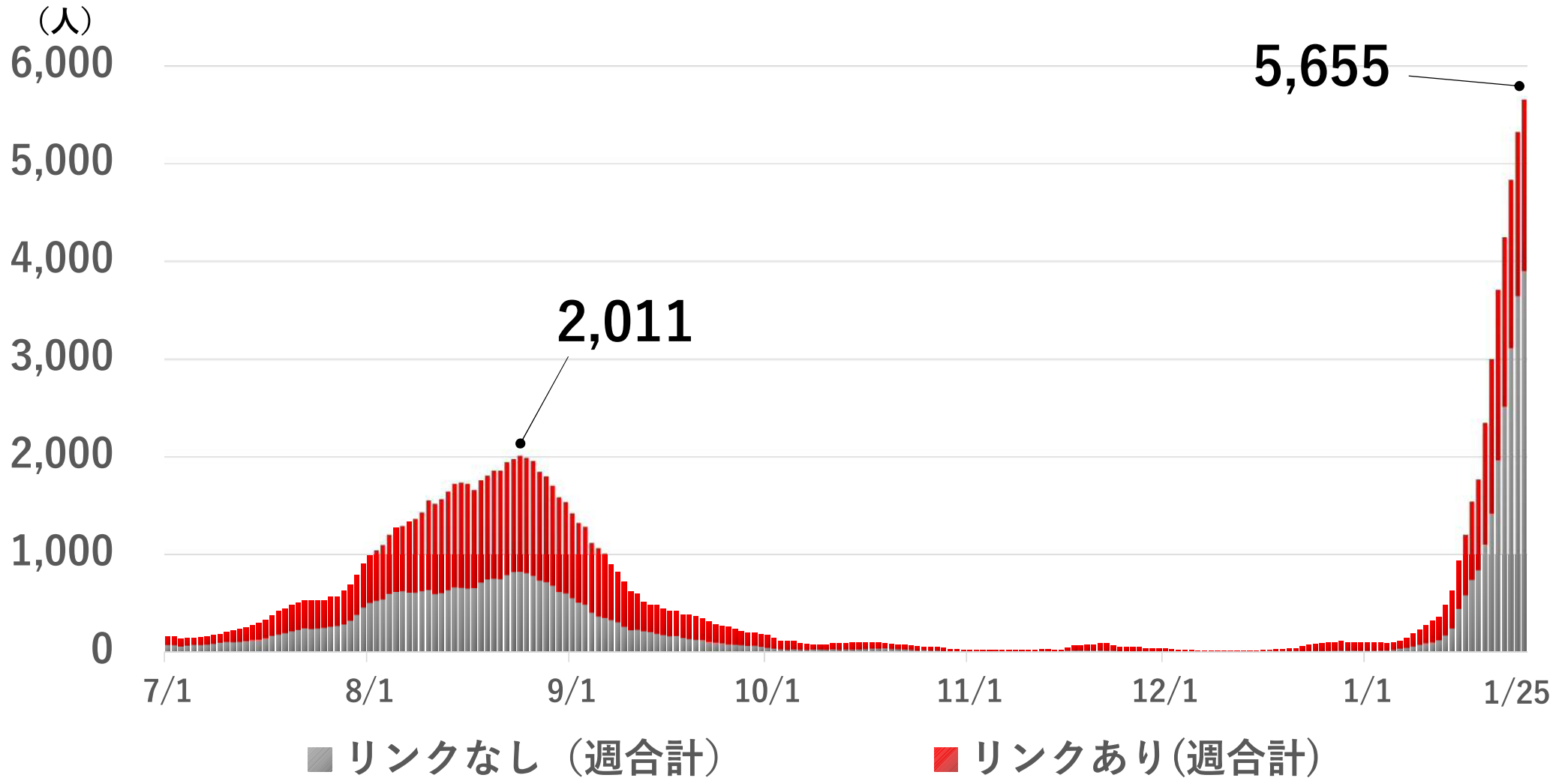
札幌市感染症対策本部会議

# 札幌市の感染状況について

---

令和4年1月26日  
札幌市保健所

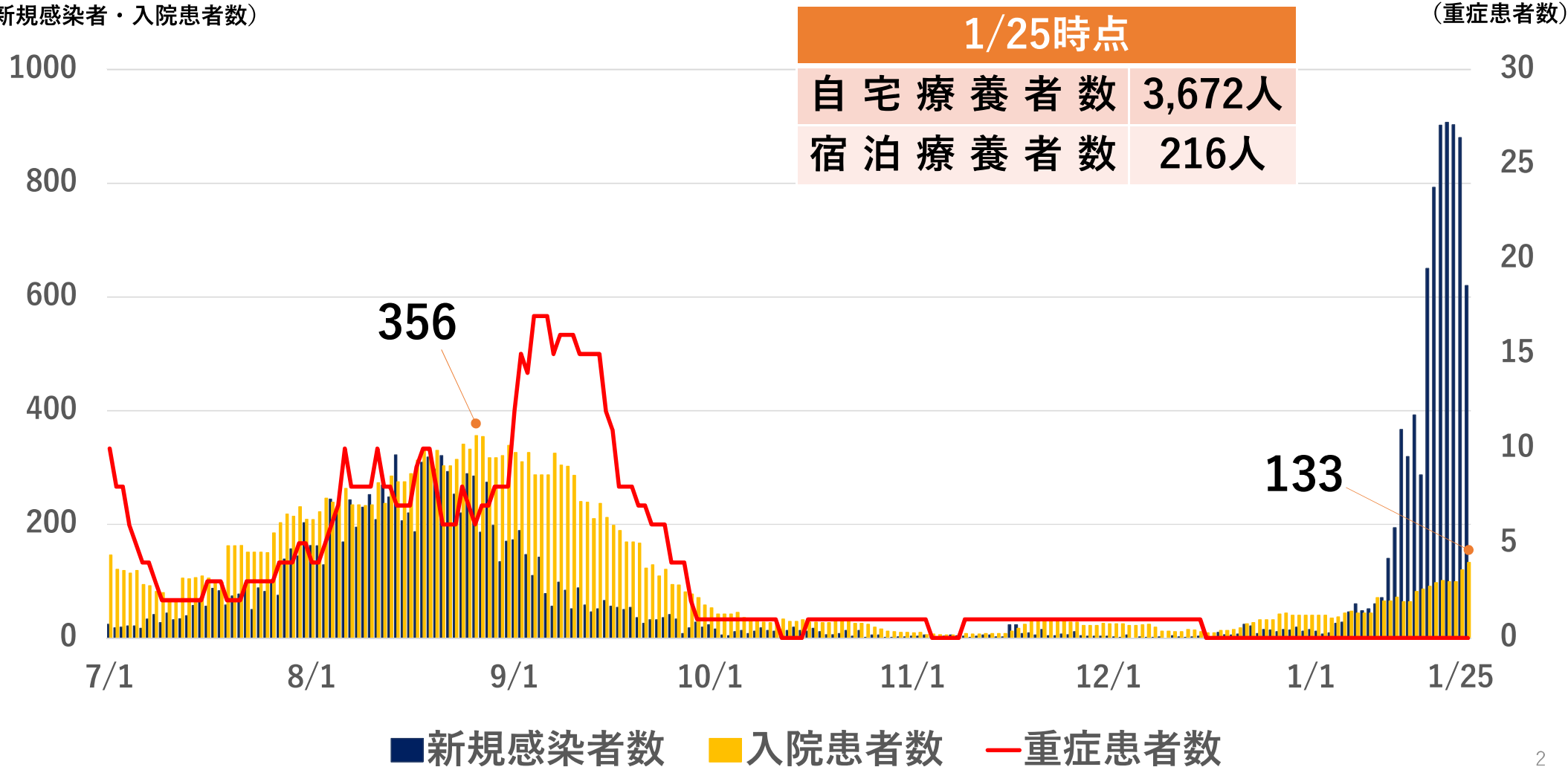
# 市内新規感染者数の推移



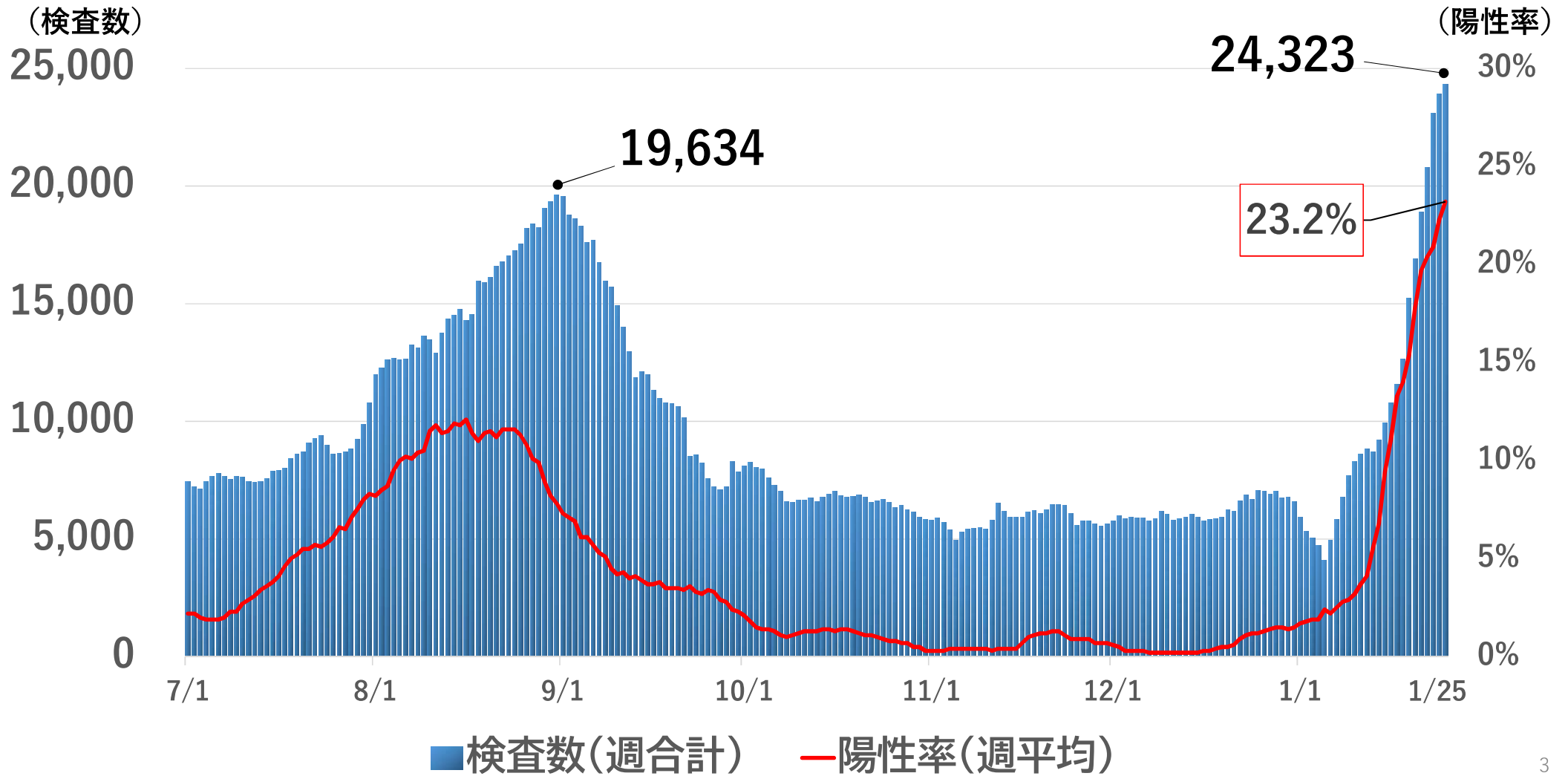
# 札幌市民の感染者数・入院患者数・重症患者数の推移

(新規感染者・入院患者数)

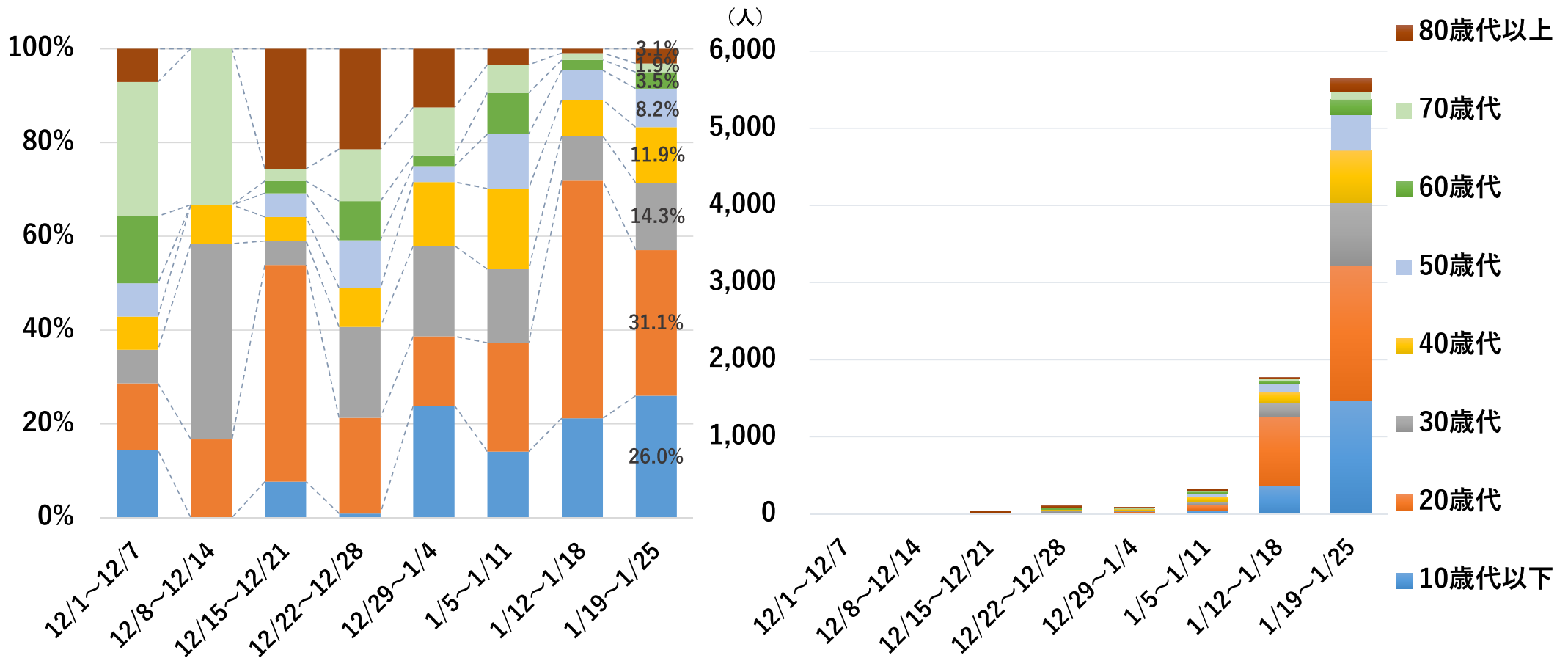
(重症患者数)



# 市内検査数と陽性率の推移

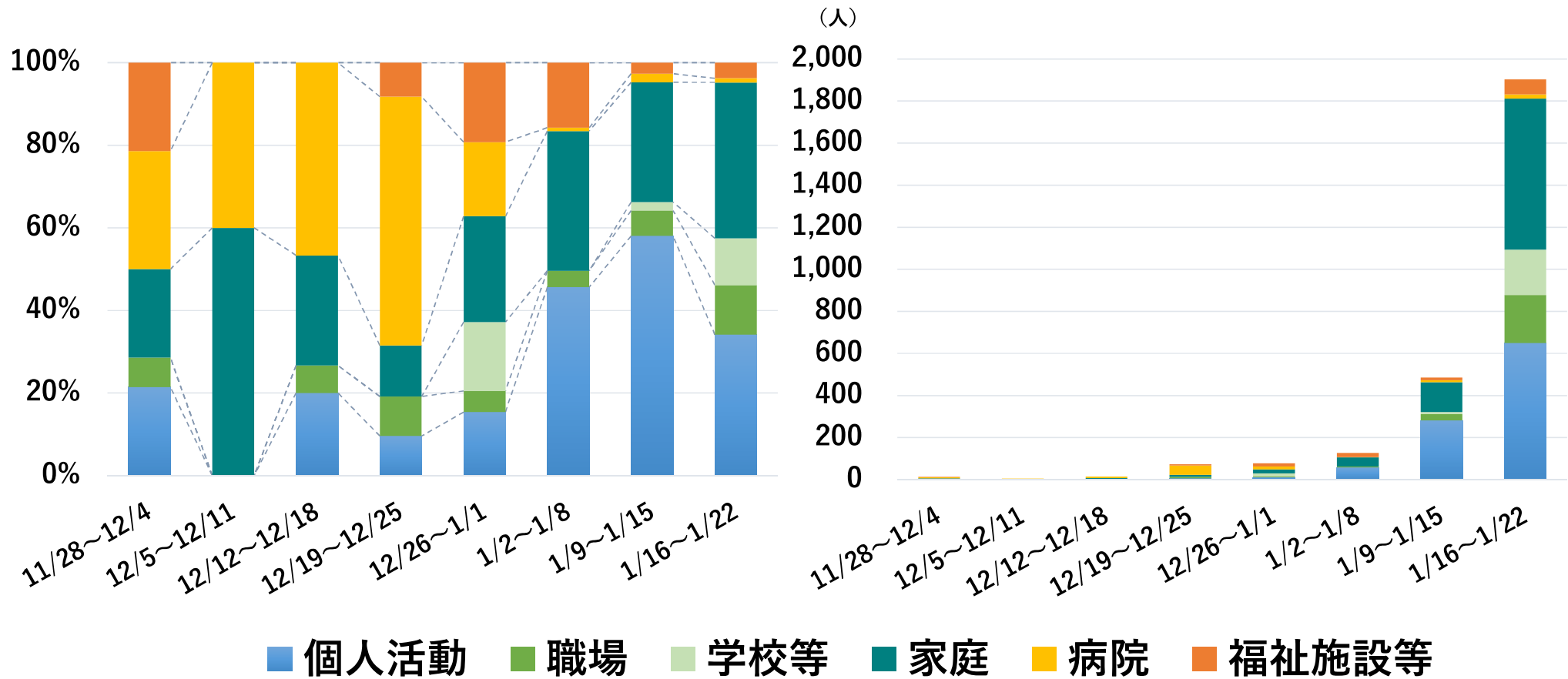


# 市内年齢別感染者数の割合



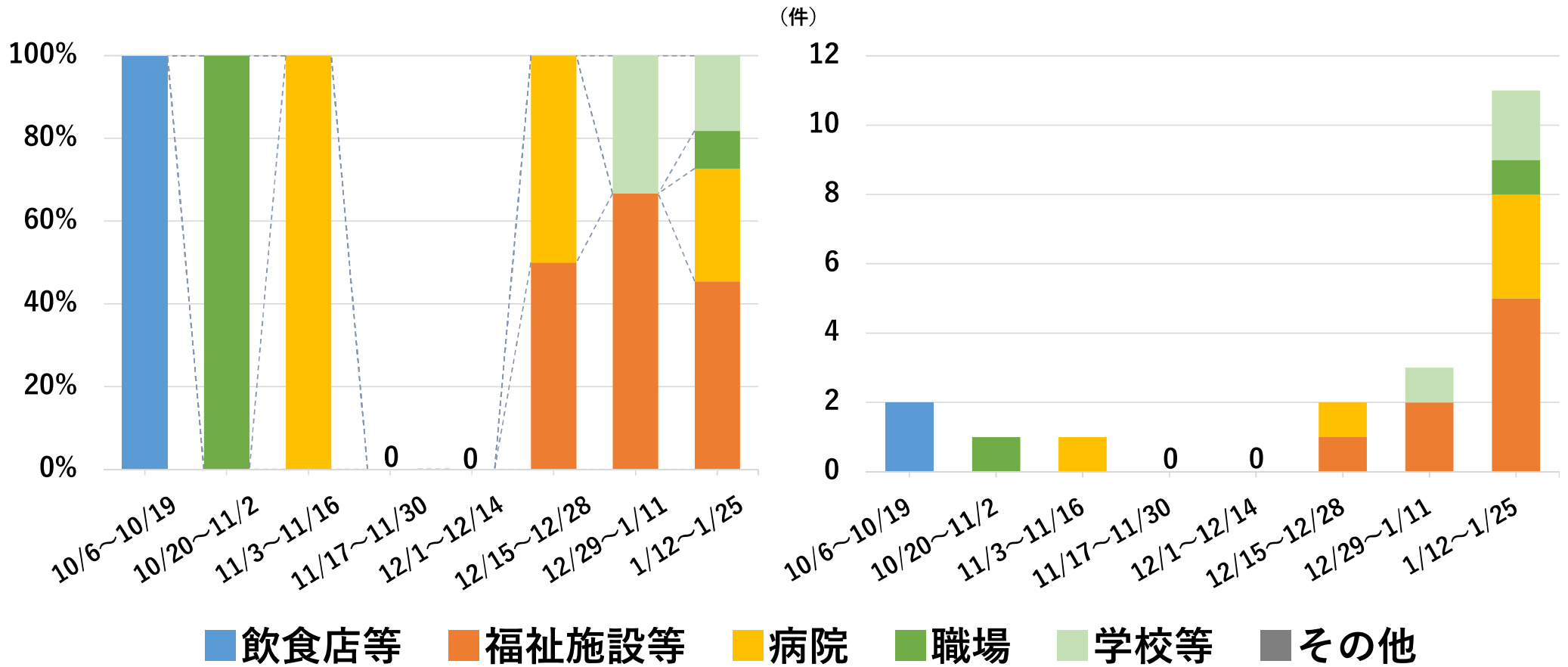
➤ 幅広い年代で増加がみられるが、特に若年層での増加がみられ、30歳代以下で7割を占める状況

# 市内新規感染者（リンクあり）の感染経路



- 個人活動や家庭を感染経路とする件数が大きく増加
- 学校等を感染経路とする割合・件数にも増加がみられる

# 市内集団感染事例



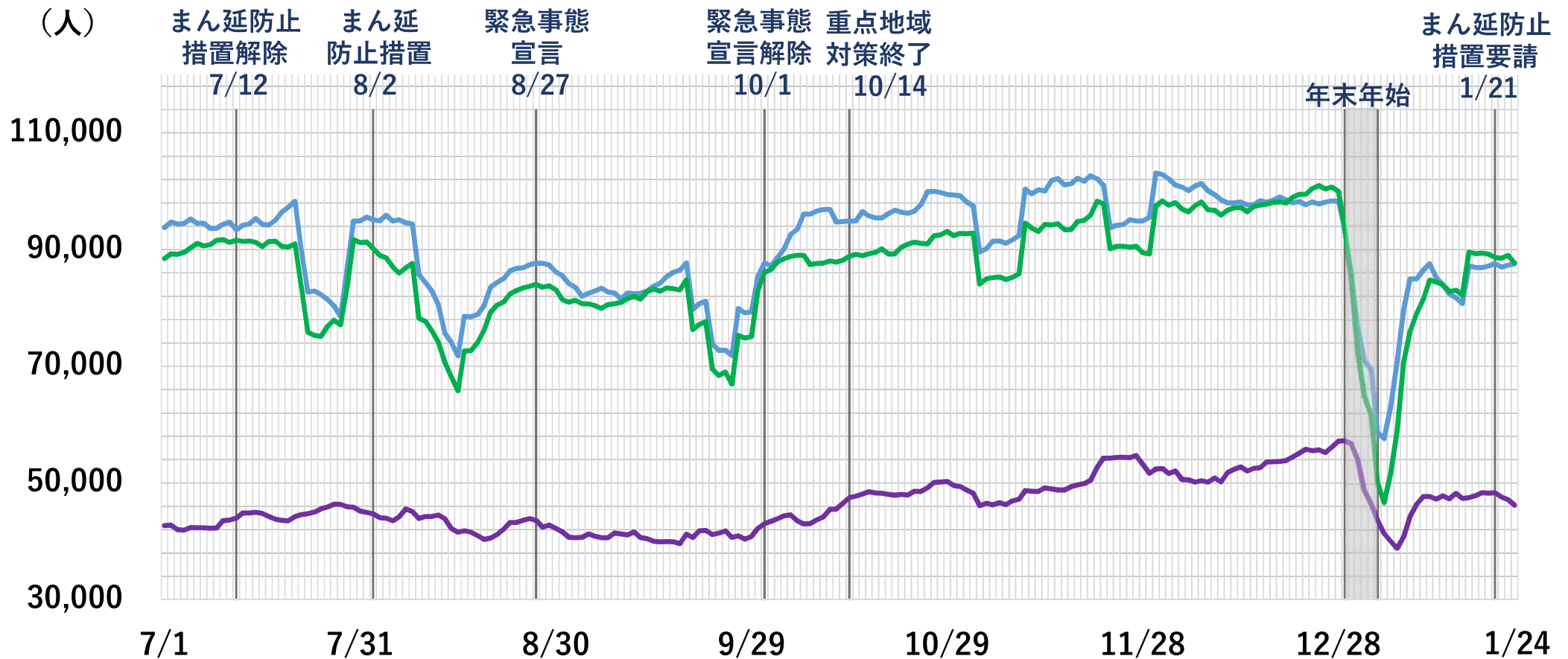
➤ 福祉施設や病院での集団感染が増加

# 市内中心部の人出（午前9時、7日間平均）

—札幌駅

—大通駅

—すすきの駅



※Agoop社提供データを元に作成

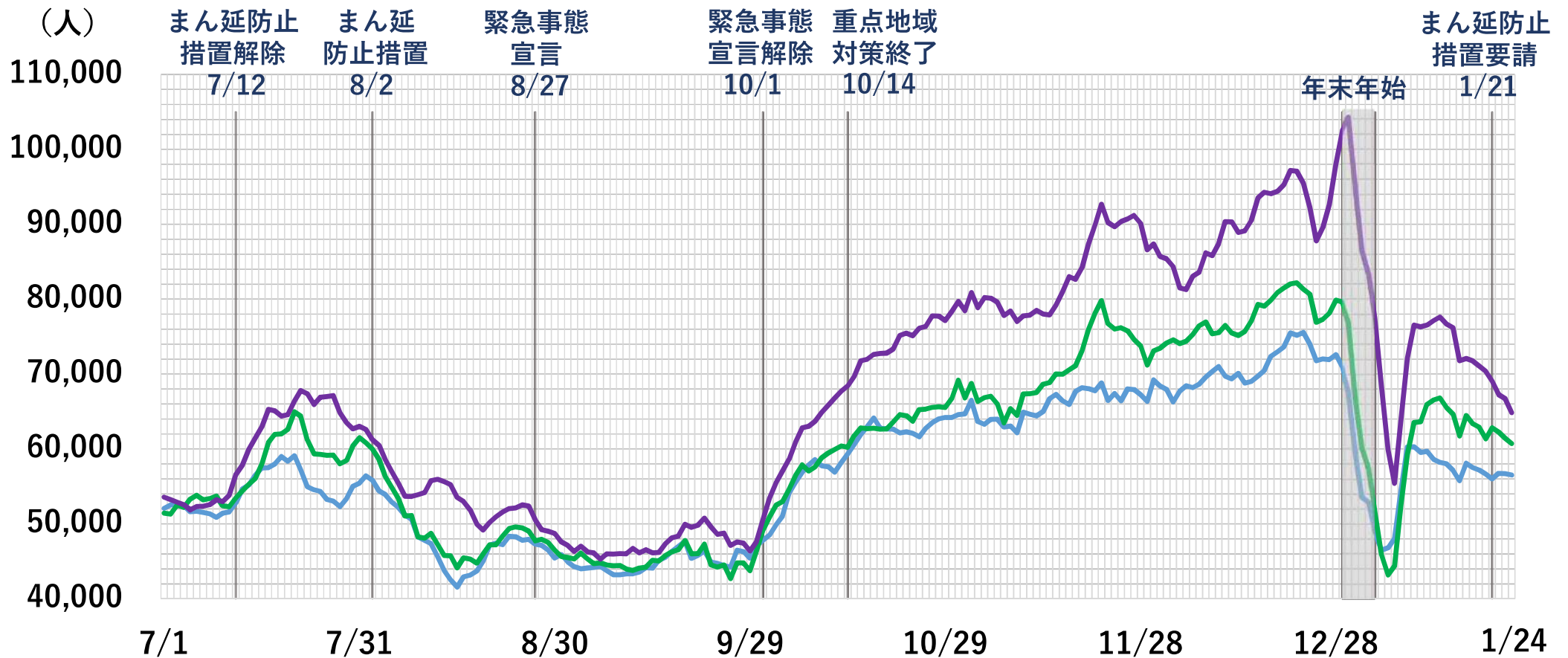


# 市内中心部の人出（午後8時、7日間平均）

—札幌駅

—大通駅

—すすきの駅



※Agoop社提供データを元に作成

# 入院受入病床の状況

令和4年1月26日  
保健福祉局保健所

➤ 市内の感染状況は、感染力の強いオミクロン株の影響により、感染の急拡大が続くとともに、ほとんどがデルタ株からオミクロン株に置き換わっている状況です。

	9月28日	10月8日	1月14日	1月26日
① 確保病床数 <b>【現在フェーズ2】</b>	609	489	444 <b>【フェーズ3】</b> 622	515 <b>【フェーズ3】</b> 622
② 実質受入可能病床数	570	482	444	515
③ 入院患者数(市外患者含む)	80	34	67	140
④ 実質病床使用率 (③÷②)	14.0%	7.1%	15.1%	27.2%

※1 感染の急拡大を受けて、1月18日から全道で「フェーズ2」に移行、**確保病床数は515床**となった。

※2 高齢者施設のクラスターの増加などに伴い、認知機能の低下・要介護度の高い高齢者の入院受入が難しくなっている事例も発生。

さらに、オミクロン株の感染の急拡大により医療従事者が欠勤せざるを得ない事態も重なり、実態として**病床の使用率よりも厳しい状況**となっている。

# 中和抗体薬(点滴薬)・経口薬の治療実績

令和4年1月26日  
保健福祉局保健所

## (1) 抗体カクテル療法(ロナプリーブ)の治療実績

	1月14日	1月24日
入院受入医療機関の37病院(39病院中)を含む 38か所の医療機関など	507	515(+8)

## (2) 中和抗体薬(ゼビュディ)の治療実績

	1月14日	1月24日
入院受入医療機関の24病院(39病院のうち <u>35病院</u> <u>登録済み(30病院⇒35病院: +5)</u> )	42	98(+56)

※ 今後のオミクロン株への対応を想定し、変異株にも効果のあるゼビュディの活用体制の強化を図っている

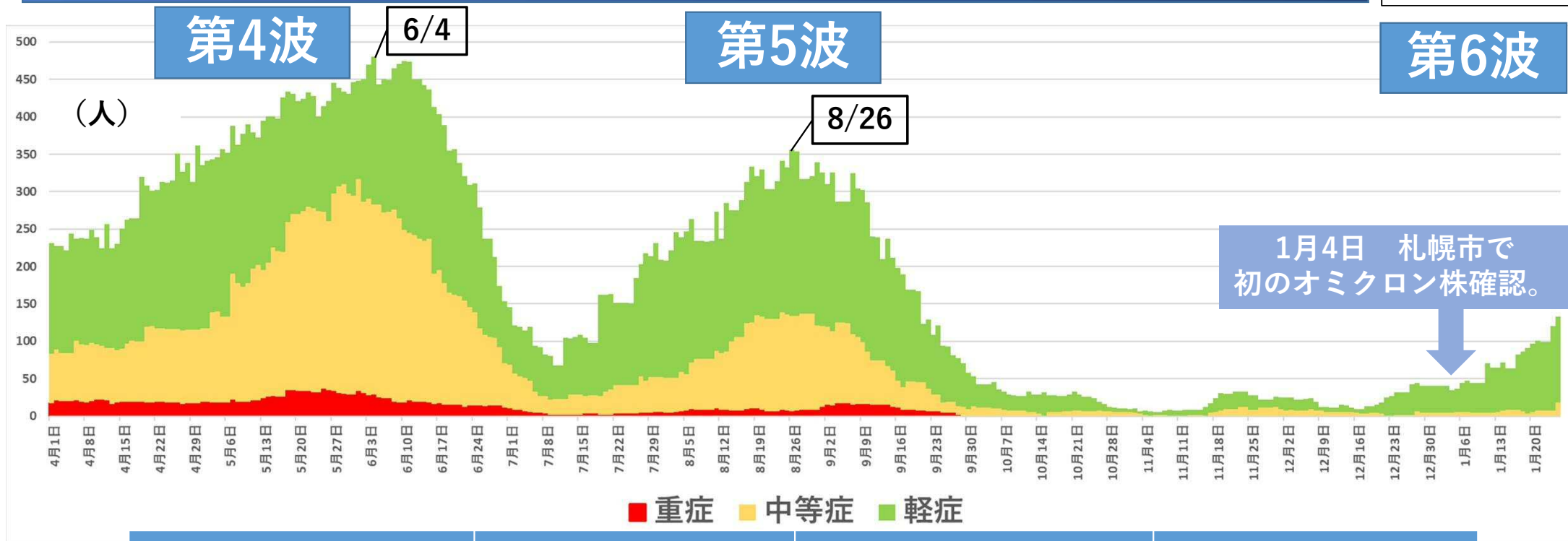
## (1) + (2) 中和抗体薬(点滴薬)の治療実績 合計 613人(+64)

## (3) 経口薬(ラゲブリオ)の治療実績 合計 94人(+87)

	1月14日	1月24日
入院受入医療機関の10病院(39病院のうち <u>36病院</u> <u>登録済み</u> )を含む医療機関など	7	94(+87)

# 重症度別の入院患者数の推移

令和4年1月26日  
保健福祉局保健所



		第4波ピーク(6/4)	第5波ピーク(8/26)	第6波(1/25)
入院患者数	総数	480	356	133
	軽症	197	222	115
	中等症	254	128	18
	重症	29	6	0

# 世代別の入院患者割合の推移

令和4年1月26日  
保健福祉局保健所

第4波

第5波

第6波

